

令和7年度 インフルエンザの有病者数、医療費の調査および 予防接種と罹患の関連調査に関する報告

東京屋外広告ディスプレイ健康保険組合

■ インフルエンザの有病者数、医療費について（図1ご参照）

令和7年10月～令和8年3月診療分で動向調査をおこないました。
今季のインフルエンザの罹患のピークは、**令和7年11月**となっているのがわかります。

令和4年度～令和7年度の各々の10月～翌年3月までのインフルエンザの有病者数および医療費は
下記のとおりです。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
有病者数	4,538 人	14,847 人	11,375 人	15,697 人
医療費	26,644,370 円	103,934,960 円	73,835,850 円	116,801,040 円

令和6年度と比較すると、有病者数：約1.4倍、医療費：約1.6倍となり、
令和4年度まで遡ると、有病者数：約3.5倍、医療費：約4.4倍にまで増加しております。
コロナ禍以降、マスク生活や人との接触が減少したことから、ウィルスに対する免疫力が低下していること、
また、令和5年8月に新型コロナウィルスが感染症法上「5類感染症」に移行し、個人や事業者の自主的判断に
基づく対応が基本となり、人の動きがより活発になったことで感染が拡大していったと推測されます。

■ 予防接種と罹患との関連調査報告（図2ご参照）

インフルエンザ罹患のピークであった令和7年11月診療分と、前年度のピークであった令和6年12月診療分
とで、予防接種と罹患の関係を調査しました。

☆ 予防接種の有無による罹患患者数及び罹患率を調査

予防接種を受けたグループと受けていないグループとで、インフルエンザの罹患率を本人家族
合計で算出すると、下記ようになります。

	令和6年度		令和7年度	
	令和6年12月診療		令和7年11月診療	
予防接種を 受けたグループ	予防接種ありの人数	12,082 人	12,720 人	
	罹患患者数	651 人	716 人	
	罹患率	5.39 %	5.63 %	
予防接種を 受けていないグループ	予防接種なしの人数	68,968 人	68,330 人	
	罹患患者数	4,503 人	3,520 人	
	罹患率	6.53 %	5.15 %	

■ 今回の調査でわかった事

今季のインフルエンザ罹患患者数のピークは、**令和7年11月**でした。
令和7年度は、9月から流行が開始し、例年より早い11月でピークを迎えています。
ワクチン接種前、もしくは接種後抗体が十分に出来る前に罹患者となってしまった方が、一定数いると
推測されます。

令和7年度の実績から予防接種を受けたグループと受けていないグループとでは、受けたグループのほうが
罹患率が若干高い結果となりましたが、令和7年11月罹患後にワクチンを接種した方も、データ上では
「予防接種あり」の罹患患者数に含まれているため、予防接種の有効性が低いとは一概には言えないと考えます。
健康保険組合としては、「予防接種による免疫力向上と重症化予防」を重要視し、令和8年度も予防接種事業を
実施致します。

以 上

図1. 季節性疾患（かぜ・感冒、インフルエンザ）の罹患患者数及び医療費（本人・家族計）



図2. インフルエンザ予防接種の有無による罹患のピーク月の罹患患者数および罹患率の年度推移

令和元年～令和7年での調査結果

